

建学の精神

「女子美」の名で知られる本学園は、女性に対して高等教育機関における美術教育への門戸が開かれていなかった明治33（1900）年に、「**芸術による女性の自立**」、「**女性の社会的地位の向上**」、「**専門の技術家・美術教師の養成**」を目指して、美術教育をおこなう学校として創立しました。

以後、今日までの120年余にわたる長い歴史の間に、画壇・デザイン界をはじめ、教育界などあらゆる分野に優れた人材を輩出するとともに、社会で自立できる女性たちを送り出してきました。

現代においても、知性と感性と技能を併せもち、美術の専門を活かして社会的、経済的に自立できる人材の育成を、下記の教育理念のもとにおこなっています。

短期大学部 造形学科 カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

共通科目

以下の教育課程編成の分類毎にそれぞれの設定する能力を養成する科目を配置します。

- ・多様性が尊重される社会において、ジェンダー、国際社会と日本、自然環境と人間、芸術について広く学び自己理解をすることで、社会人にふさわしい考え方や幅広い教養を養う科目を配置する。
- ・芸術的理論と技法を活用し、自分の未来像（キャリア）をデザインし、生涯にわたり広く社会に貢献できる主体的な実践力、マネジメント力、協働する力を養う科目を配置する。
- ・美学、美術史、色彩や図学など、芸術分野における基礎力、芸術的感性を培い、独創性を高めて具現化することのできる創造的思考力・判断力を養う科目を配置する。
- ・グローバル社会において多様な他者の文化的背景を理解し、自身の創作や考えについての確に伝えるコミュニケーション能力を養う科目を配置する。

専門科目

現代の多様化する美術、デザインの表現領域を多角的に捉えたカリキュラムとなっており、本人の実技体験を通して、専門分野を絞り込むことができる選択制を取り入れています。1年次前期は専門科目を限定せず、13種類の科目から4科目を自由に選択します。美術、デザインの基礎を学ぶとともに、自己の表現の幅を拡げることを目的としています。1年次後期からは前期の体験をもとに美術コース、デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・プロダクト）の各領域を選択、より専門性の高い知識や技術を集中的に修得しながら、自らの発想を表現することを学びます。2年次後期はそれまで培った知識、技術、表現力を基にして卒業制作に取り組みます。2年間の集大成として自己の発想、表現の可能性を追求し作品として成立させること、そして社会に対して発表することを学びます。

短期大学部 造形学科 ディプロマポリシー（学位授与の方針）

以下を身に付けたものに対して、学位を授与します。

- ・社会人にふさわしい教養、考え方を身につけている。
- ・美術、デザインの専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができる。
- ・自らの創作について、他者に伝えるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけている。
- ・美術、デザインの活動を通して、広く社会に貢献できる能力を身につけている。